



草津市立草津小学校 学校だより

—学校教育目標—

確かな学力を身につけた

心豊かでたくましい 子どもの育成

なでしこ



令和4年(2022年)9月29日

No. 17

『GIGAスクール「草津小」の取組』

Global and Innovation Gateway for All ～1人1台「タブレットPC」の活用～ 校長 中村 真理子



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、9月より、本校においても学級閉鎖が相次いでおり、土日の間に陽性者が判明し学級閉鎖に至るケースもありました。そのような場合に備えて、子どもたちの学びの保障の観点から、毎週末、タブレットPCの持ち帰りを実施しております。タブレットPC以外に持ち帰る学用品については、各学年の状況に応じて、できるだけ少なくする工夫も続けています。今のところ当面の間、市教育委員会と連携して、タブレットPCの持ち帰りを続けていく予定です。保護者の皆様方には、子どもたちの「学びを止めないために」、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

保護者の皆様方のご支援のおかげで、本校では上図の通り、感染対策をとりながら9月の間、学級閉鎖の場合や、コロナ感染等で数日間、出席停止となった場合でも、子どもたちやご家庭との関係をオンライン授業等でつなげることができています。タブレットPCにつきましては、学校の授業での活用も重要ですが、Teamsの機能を使って、ご家庭と学校との間でやりとりができていることは、大きな成果です。

これからの将来に向けて、タブレットPCなどのICT機器が、子どもたち自身の資質を磨く道具であり、将来を切り開く武器になっていると感じています。教育の情報化や、社会のデジタル化に対応できる子どもたちを育てていくために、心を育てる「情報モラル教育」のさらなる充実も図りながら、今後も「GIGAスクール草津小」の発展に向けて、様々な取組を進めていきます。今後とも、ご支援・ご協力をお願いいたします。



【草津小HPに、子どもたちの活動等を毎日更新中。「配付物」等も順次掲載しています。ぜひアクセスを!】



タブレットPC(iPad)利用に関するお願い



これからの社会では、自らの力で適切にインターネットや端末を活用し、情報社会を安心安全に生き抜くための能力や態度が求められます。学校でも、情報モラルやタブレットPCの使用についてのルールを、繰り返し子どもたちに啓発していきますので、適切かつ効果的な活用について、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

【内容】	【お願い】
(1) 充電	<ul style="list-style-type: none"> ○長期に渡る休業や休校以外は、学校の電源ボックスに設置されている充電装置を持って帰りません。充電した状態で、ご家庭に持って帰ります。 ○ご家庭に iPad 用の充電装置がある場合は、充電していただいてもかまいません。
(2) 紛失・破損	<ul style="list-style-type: none"> ○ご家庭に持ち帰った際に無くしたり、壊したりした際は、すぐに学校に連絡してください。 ○学校でもご家庭でも、紛失及び故意、または明らかな過失により破損した場合は、本人及びご家庭の責任とし、購入は実費負担でお願いします。
(3) 返却	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット PC (iPad)、キーボード、カバー、充電装置(コード等)は、草津市からの貸与ですので、卒業や転出する際は、元の状態にして学校へ返却してください。 ○ご家庭に持ち帰った際に、個人名をタブレットやカバーに記名されるケースがありました。管理上、タブレット PC (iPad)には、子どもたちの名前シールを貼っていますが、周辺機器を含め、マジック等で記名しないでください。
(4) 利用状況の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット PC (iPad)で閲覧した内容等は、保存されるようになっています。不正利用や不適切利用を防ぐために、必要に応じて、学校がタブレット PC (iPad)の中身や履歴等を確認することもあります。 ○タブレット PC (iPad)の利用方法や情報モラル等は、学校でも指導をしますが、ご家庭でもお子様が正しく利用できているか、ご確認をお願いします。(利用内容・利用時間・就寝時間の把握等)



『子どもの心に 寄り添って』



「自分の行動をふりかえる力」

9月上旬の昼休み、校長室に3,4年生の子どもたち数人が訪ねてきました。相談したいことがあったようですので、子どもたちの話を聞きました。

「きのう、公園で水鉄砲をして楽しくみんなで遊んでいた。でも、わざとやったわけではないけど、公園のベンチに座っていた女の人のスカートに水をかけてしまった。その時に、すぐ女の人に「ごめんなさい。」と謝ることができたらよかったけれど、その時は謝れず、そのまま帰って来てしまった。

一晩たって、「なんで謝れなかったのかなあ。」と後悔した。今日学校で、昨日一緒に遊んだみんなで相談して、「やっぱり謝ろう。」ということになった。でも、相手の連絡先もわからないし、もし、その女の人が校長先生に電話をかけてこれたら、「ぼくたちは謝りたいと思っている。」ことを伝えてほしい。

と、言う内容でした。実際に、学校へは電話はかかってきていないため、相手の方がわからないので、謝ることはできていません。けれど、私は子どもたちに対して、

「水をかけてしまい、その時に謝ることができれば、確かによかったけれど、私たち人間は、間違ってしまうこともある。それを素直に認め、自分たちで相談して、謝ろうとしていることは、とても勇気のいること。それができる人は、自分をしっかりと振り返って、これからさらに、よりよいやり方を見つけることができる。間違いや失敗を、自分の成長につなげていこう。」と、話しました。子どもたちが、間違いや失敗を大切に、これから成長していこうとする姿に接し、心が熱くなりました。(もしもご迷惑をおかけした方が、このコラムを読んでいただいていたら、ぜひ草津小までご連絡をお願いいたします。)



【草津小 HP に、子どもたちの活動等を毎日更新中。「配付物」等も順次掲載しています。ぜひアクセスを!】